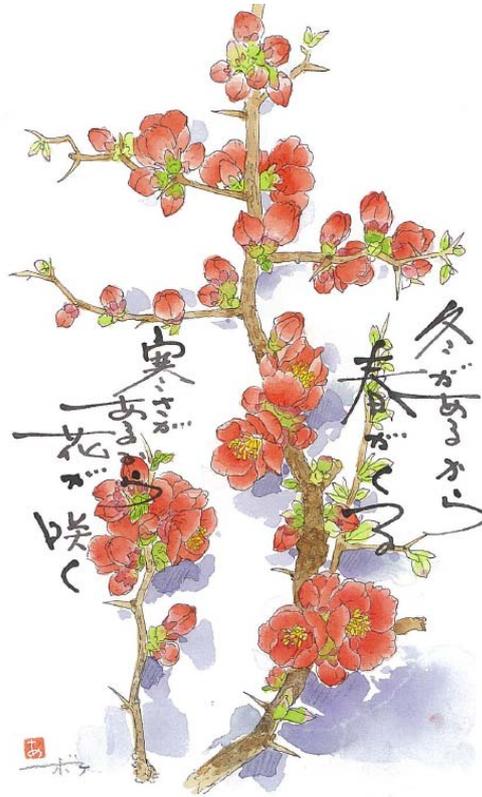


風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

冬号
2020



『新年を迎えて』

風のおと

新年明けましておめでとうございます。
皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができましたことに感謝します。

オリンピックイヤーの幕が開けましたが、記憶に残る1年になることは間違いないでしょう。ねずみ年は、十二支の一番最初の年です。新しい周期のスタートであり、陽の気と水気が良い影響を出し合い、「勢いよく物事が芽生えて発展する年」と言われています。

今年は、赤城青少年交流の家にとって「50周年記念式典」の準備期間の1年となります。水の流れを止めることのないよう、積極的に実行していきたいと思えます。

赤城青少年交流の家を利用頂く皆さんの為に、職員一同「頭と心と体」を使って努力したいと思えますので、本年も何卒よろしく願いいたします。

所長 松村 純子

おまぎをつかう!

交流の家Facebookページ

国立赤城青少年交流の家のFacebookページでは、教育事業やイベント出展の情報、利用団体の活動の様子、交流の家周辺の自然に関する情報などを発信しています。日々更新していますので、ぜひチェックしてください!

最新情報はこちらからどうぞ→





報告

関東甲信越地区 青少年教育施設研修会

あかぎの
事業



告知!

当施設では10年ぶりの開催!



11月13日(水)～14日(木)に関東甲信越地区青少年教育施設の職員研修会が当施設を会場として開催され、1都9県から63名の参加がありました。東京おもちゃ美術館の多田千尋館長による「ホスピタリティの力による施設の活性化」の講演の他、「体験活動の事象事例から学ぼう」、「ササビー広場で遊ぼう」、「手作りおもちゃを作ろう」の3つの分科会が行われ、施設間の連携や情報共有を図る良い研修会となりました。

(塩原)

【体験ノススメ】

あかぎでこんなことができる!

クラフト体験 交流の家では様々なクラフト体験ができます。竹とんぼやかんな箸、勾玉などの手軽にできるものから、七宝焼やてん刻などの講師の先生に教えてもらうものまであります。また、来年度からは、自然物を自由に組み合わせて作るネイチャークラフトや、落ち葉を使った作品作り、焼き板作り、オリジナルスプーン・フォーク作りなどを予定しています。

ぜひ、交流の家へお越し頂き、様々なものづくりに挑戦してみたいはいかがでしょうか。(梁河)



東武特急りょうもうで行く 「育パパ&育ママ応援ファミリーキャンプ in国立赤城青少年交流の家 冬」

幼児・小学生を含む親子を対象にするこの事業は、東武鉄道との連携事業で、首都圏から東武特急りょうもうに乗って赤城に向かいます。貸し切り車両でゆっくり過ごし、東武鉄道の制服を着て写真を撮ることもできます。赤城に到着後は、雪遊びや恵方巻づくりなどのプログラムを予定しています。東武鉄道沿線の家族の皆さん、申し込みをお待ちしています。(福岡)

日 程：令和2年2月1日(土)～2日(日)
募 集：現在募集中です。
詳しくはホームページをご覧ください。



【スタッフコラム】

～職員オススメ! THIS IS AKAGI !!～

冬季は乾燥した冷たい風が吹き、とても寒い赤城ですが、夜の星空はとてもきれいに見えます。時には流れ星も見えるかもしれません。星座に興味のある人もない人も、この満天の星空をぜひ一度は見て欲しいと思います。(梁河)



国立赤城青少年交流の家 <https://akagi.niye.go.jp/>
TEL: 027-289-7224 FAX: 027-289-7226
〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail: akagi@niye.go.jp



【タイトルの「カラゴロリ」は、赤城名物の「からっ風」と雷の「ゴロゴロ」に由来します】